

デノミネーションとノミネーションについて

一時期、中国の通貨 Yuan (元)の切り下げ(denomination:通貨の桁数を少なくすること)が問題になっていましたが、インフレーションが起きていたからでしょう。逆に円高が進んでデフレーションが起きるとすると、通貨の切り上げ (nomination:通貨の桁数を多くすること)が必要になってきます。例えば1ドル100円が円高が進んで1ドル1円なったとすると、円 (Yen) だけではなくて銭(Sen)や文(Mon)が紙幣や硬貨で必要になってきます。それではコストがかさみすぎるのでノミネーションが必要でしょう。以前にデフレーションが進んで財やサービスの価格が0円になると強制労働になると述べましたが、それを防ぐためには通貨の切り上げが必要だということです。ちなみに、¥マークを中国に取られないように国として商標登録しておく必要があると思います。以前は、デフレーションが問題だと言っていたのに最近円安が進んで1ドル125円になったからインフレーションが問題だと言いつつ新聞報道が多いですが、要するに無い物ねだりなんです。全て、原油高が原因ですが、炭素税が必要になったり、脱化石燃料が唱えられたり、電気自動車の普及を目指したり、企業は技術革新に投資をしたり良い面もあります。そのうちガソリンスタンドに充電のための電気スタンドが併設される時代がくるでしょう。物価の安定が仕事の日本銀行にはがんばってもらいたいものです。

注：この文章はハッカーによって消された論文(2019年10月11日以降に書いたもの)を思い出しながら書き直したものです。

2022年4月13日

英文法令社
佐藤 賢一